

第6回佐久市総合計画審議会 議事録（要旨）

日 時：平成23年9月2日

13:30～15:00

場 所：佐久市役所8階

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画について

①序論（案）について

事務局より資料説明（資料1）

質疑、意見

(委員)	<p>市民の意識は、佐久市の良さについて5年前より15%アップ（とても住みやすい(14.1→19.2)、どちらかといえば住みやすい(48.9→59.1)）して住み良いまちだという事になっている。</p> <p>内容を見ると、9ページに重要度がきわめて高いが満足度がきわめて低いに、ダントツで働く機会・働く環境があるが、この事態はかなり深刻だと思います。</p> <p>11ページ課題4で、地域の産業活力を高め雇用機会を拡大する、があって、中段の所で医療福祉系など既存の産業基盤を手掛かりとして、とあり、そして、8ページで市民が将来に希望するもののダントツが保健・医療・福祉健康長寿のまち、これが5年前に比べて12%、一番伸びている事を考えると、市民の両方のダントツ一位の要望と課題を総合的に突き詰めれば、必然的に佐久病院、浅間病院をはじめ佐久地域の医療の先駆性、介護福祉、佐久地域が今大変充実している現状に加え、こういった医療福祉をさらに飛躍的に進めることによって市民が望む将来の佐久市に対する期待に沿う形になるし、さらに産業の育成で、最も重要課題である働く機会働く環境が佐久市は極めて低いという市民の声にも応えていく形になる、そういった意味ではさらなる積極的、具体的な努力と産業活力の活性化を図って、佐久市に産業全体の働く機会が保障できるようなことを進めていく必要がある、と思います。</p> <p>もう一つ、課題7で、これからやはり10万都市をさらに持続して、生き生きと市民が本当に佐久市に住んで良かったと思うためには、行政と市民が協働になって地域づくりを進めて行く必要がある。そういった意味では来春オープンする予定の市民活動サポートセンターは1つの大事な視点になる。新しい行政と市民が一体となった協働参加、協働の作業、この辺も後期基本計画の中では、ぜひ重要視</p>
------	--

<p>(委員)</p>	<p>していくことが佐久市の新たな発展に繋がるかと思います。</p> <p>いくつかありますが、総括的に言うと12ページに関係する事で、大震災があり、原発があり、それだけでなく集中的ゲリラ豪雨があったり、台風が直撃する時、いろいろありますけれども、これから災害が起きた時、どうやって拡大しないようにするか、天災は減らせないけれども被害をどれだけ減らしていくのか、そのことによって安全なまちづくり安心して暮らせる住み良いまち、そういうようなことをここで改めてしっかり落ち着いて取り組むという事が大事なんじゃないでしょうか。</p> <p>所々には載せてありますが、後期基本計画ではもう少し重点と言いますか一つのポイントを置いてやる必要がある。今言ったような災害だけじゃなく、原発事故はまだ収束していませんし、放射能汚染はまだしばらく続くことが考えられるわけなので、そういうことも含めまして、もう少しこの点を色濃くする必要があるのではないかと。12ページに4つ視点a b c dとあるが、住み続けられるまちの魅力に入るかもしれませんが、その点もう少ししっかり入れる必要があるのではないのでしょうか。確かに都市ブランドを高めていくことも大事な事でしょうけども、それよりも安全なまち、安心して暮らせるまちを、そうでないといくら努力したとしても、あつという間に生活手段、生産手段を失ってしまうわけです。今までは、天災を人災によって拡大してきたという事件がたくさんあったわけです。それをどうやって減らしていくか、落ち着いてしっかり取り組んでいく必要があるのではないかと。もう少ししっかり視点として入れ込む必要があるのではないかと思います。</p> <p>それから視点aの住み続けたいまちの魅力と誇りづくりの表現で、誇りづくりという表現はあまり適切だと私は思いません。愛着とか誇りというのは、産業振興に努力したり、文化芸術に努力したり、地味な事をずっとやりながら自然と愛着が出たり誇りを持って自分たちのまちを語れるようになって行くということで、目標とし誇りをつくるということは、あまり適切ではないんじゃないかと思えます。</p> <p>13ページに、佐久市らしさの追及とチャレンジ佐久も悪いわけではないけれども、さっき言いましたような安全なまちをしっかりとつくって、もう少し入れ込む必要があると思います。</p> <p>4ページに関する事では、環境・エネルギー・水・食糧問題は全国的・世界的には大きな時代背景で書かれているものなのでこれでも良いんですけども、もう少し我々が意識するのは、エネルギーと</p>
-------------	--

か食糧とか水とか、その他地域で暮らしていくのに必要なものを地域地域で自給していく、自分たちで確保していく、そういう姿勢をもっと我々は持たないといけない。これは国の問題だということではなく、自分たちでもっと地域の条件を生かして自分たちで賄っていく、この事によって安全でより良いものが出来ると思っている。それが持続可能性にもつながると思うので、我々は他人事のように求められているということだけではなく、もう少しその辺を意識してほしい。

同じく4ページ、地方分権ですが、これは私の認識とだいぶ違うので質問したいが、平成の大合併と呼ばれた市町村合併により基礎的自治体体制強化が進みと書かれています。どこが体制強化されたのか、どういう根拠かをぜひお聞きしたい。法的な合併が佐久市でも全国でも進んで財政効率を目指している。確かに財政効率は進んだかもしれませんが、体制上の強化はされていないのではないかと。そのために災害があったり、いろいろ人的な体制の面では不備が出て賄えない状態になっているわけです。平成の大合併を体制強化が進んだというように簡単に言えるほどまだ検証されていない。もう少し東西・プラスマイナスこれからしっかり検証されると思うんですけど、体制強化が進んだとは思えない。その点についてお聞かせいただきたい。

5番目の市民協働社会の歩みで、これは別に間違っているとは思いませんが、事務基準の評価も基準に達しているんですけど、その通りです。ただし、財政的な制約の増大からは行政指導員による地域運営の限界が顕在化しており、これは適切とは思えません。財政的な制約の増大があったから、行政指導による地域運営の限界が顕在化したと言っているんです。これはおかしいことです。財政的な制約があろうが無かろうが、行政の主導による地方政府から地方自治体まで全部、行政主導による地域運営というのはもう限界にきている。住民自身がそれを認めていない。もっと住民が参加・参画をきちんと保証して、一緒になって作っていく、あるいは住民が主体で作っていく、そういう長い運動展開によってだんだん地方分権、地方自治の充実ということが言われているわけです。財政的な制約があるので地域運営の行政主導では限界が来ている。これはもう明らかになった。従ってこれからは行政と市民が連携してやらなきゃいけないというのは、おかしい認識だと思っています。その点どういうお考えかお聞きしたい。

(事務局)

まず4つの視点の中に、安心して暮らせるまちづくり、とい視点が

	<p>必要ではないか、というご意見であります。ここには具体的な記載はございませんが、チャレンジプロジェクトの項目としまして、防災体制の見直しですとか、広域防災体制の強化という事で載せていまして、決して軽視しているという事ではありません。</p> <p>あとテーマにつきましては今までスローガンのものを今回ご提示させていただいたものですが、この辺ご意見をいただく中でこれよりもっとふさわしいものがあれば、ご提案いただければと考えております。</p> <p>エネルギーとか食料自給につきましては、委員さんが言われましたように時代背景という事で、捉え方がある程度佐久市というよりは、全国的な傾向、時代背景というものを記載してありますので、自給率の向上、エネルギー、食料についても書かせていただいておりますが、そういった視点という事で佐久市も当然エネルギーの自給率の向上が必要だと思いますが、大きな視点から捉えさせていただいているという事でご理解をいただければと思います。</p> <p>地方分権ですが、体制強化ということで一番は財政的な面が大きいのではないかと考えております。当然合併によるメリット・デメリットあるかと思いますが、市町村が存続するという事は大前提でございまして、それには財政基盤がしっかりしていないと色々な施策展開できないという事になりますので、財政的な面が一番大きいと。ただそういう中で、基盤整備としまして道路関係ですとか、学校整備が進んでいる実態がありますので、その辺はご理解いただければと思います。</p> <p>協働につきましても、見解がいろいろありますが、いずれにしても、これからは市民協働が必要になってくるという中で、どちらかという行政だけで進めてきた地域運営を、市民の皆さんの力をお借りしまして、協働でやっていくという視点が必要ということで、記述が適当でないということであれば、検討させていただきたいと思っております。</p> <p>(委員) どうしても気になるは、私がずっと言い続けてきた、過度に車に依存しすぎた社会、将来の反動の怖さ、例えばここにいる人の多くはたぶん20年後はマイカーを運転していない。そういう時のことについての記述が例えば5ページの高速交通網の拡充といった時の反面に、歪みとして出てくると事についての記述をしておく必要があるんじゃないか。例えば世の中がコンパクトシティ化とか、コミュニティでも、もっと歩ける程度の規模・スケールでもモノを見ていかないと、という時に、高速交通網の拡充に対しての歪みの解決の</p>
--	--

	<p>1つの方法として、例えば小海線についても大事な1つの将来の交通手段・移動手段であり、考えていく必要があるのではないかと思います。個別にも書いてありますけれども、非常にあっさりとしか書いてないので、その書けない理由もわかるんですけども、一つの大きな切り口として将来の高齢化に対しての歩けるまちづくり、コンパクトシティ化、あるいは弱者が増えてくることに対しての記述をどこかに入れておく必要があると思います。</p>
(事務局)	<p>これから交通弱者ということが、大きな問題になるのはご指摘の通りだと思います。そういう中で序論には特にその辺はうたっておりませんが、公共交通の維持確保ということでまとめさせていただいておりまして、それについては総合計画とは別に現在、公共交通の見直しで、生活交通ネットワーク計画の策定でアンケート実態調査をして、ご意見をいただく中で対応していきたいと考えております。</p> <p>序論では大きくうたっておりませんが、16ページのプロジェクトの中に、新しいプロジェクトとしまして、主なチャレンジで「地域公共交通の再構築」というような形で掲げているのでご理解いただければと思います。</p>
(委員)	<p>冒頭より事務局から、基本計画は変更せずと、おそらく市長の考えに基づいてこの会が運営されていると思いますが、各委員会それぞれ意見は全部出してあるのではないかと私は思っておりますけれども、その点について私は基本計画はこの案の通りでもってよろしいのではないかと思っていますが、いかがなものでしょうか。</p>
(委員)	<p>細かいですけれども、チャレンジのところを見ると、カテゴリー分けが間違っているのがあるようなので修正をお願いしたい。1章8ページ、4章12ページ、6章6ページ、6章16ページ。</p>
(事務局)	<p>後ほど修正したいと思います。</p>
(委員)	<p>1ページ目ですが、先程基本理念を変えないと言っていました、10年間変えないというのはおかしいと思います。時代が変わっていますので、変えていくべきだと思いますが、例えば文化都市とありますが、文化という曖昧なものではなく、世界最高健康都市、このような言葉に頼ってみたらどうか、或いは、このような言葉がどこかに出てくるのか、スローガンのように出てくるのか、その辺をお聞</p>

	<p>きしたいです。</p>
(事務局)	<p>将来都市像の「叡智と情熱が結ぶ、21世紀の新たな文化発祥都市」は、基本構想に位置付けていて、構想については踏襲をする事で、以前にご承認いただいています。ここでの文化は狭義の文化という事ではないため、まだ変える必要はないと判断をさせていただいております。</p> <p>世界最高健康都市につきましては、言葉自体は具体的に出てきません。ただ理念としてはいろんな所に散りばめられているのではないかと考えております。これを変えることになると、構想の理念とか、色々な所に影響が及びますので、それが時代にそぐわなくなって、これはおかしい、ということであれば別ですが、適切であるという認識でおりますので、理解していただければと思います。</p>
(委員)	<p>仕方ないですね。</p>
(会長)	<p>それでは時間の関係もございますので、最後の修正等はあるかと思いますが、基本的な内容についてはご承認をいただいたというように思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>—承認—</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。</p>

②部会審議報告について

総務文教部会：白井汪芳部会長

経済建設部会：臼田行孝部会長

社会部会：中村通部会長

質疑、意見

(委員)	<p>第4章8ページ母子父子福祉・低所得者福祉で、母子父子福祉の充実と書いてあるが、母子だけしか触れていない。父子に関しての記載も必要ではないか。</p>
(事務局)	<p>持ち帰って担当課と検討させていただきたいと思います。</p>

(委員)	後期基本計画は、どのような字体、印刷になるのか。
(事務局)	審議会から答申をいただく際は、基本的にこの資料のような形になると考えている。その後、印刷業者をお願いして製本となるが、その中で字体についても検討していくようになります。
(委員)	この後期基本計画でも「不登校」という言葉が使われているが、別の会議で不登校児童の親から、「不」が使われると私達は何も悪い事をしていないのに、すごく悪い事をしているように感じられてしまう。なので、この言葉が使われるのは非常に辛いという意見があった。その別の会議では、新しい言葉を作っていく事になっているが、何か良い案がないか、お知恵を借りたい。
(委員)	この審議会は、そういう場ではない。後期基本計画の審議としたい。
(委員)	後期基本計画が親しまれて、皆さんに読まれるためには、表紙とか図柄なり写真が、すごく大事だと思うんです。だから、どう理念とリンクさせて、そのコンセプトにあったような形にしていくのか。今からどうやって図柄や絵柄をどうやっていくのか方針だけちょっと教えていただきたいと思います。
(事務局)	当初の第一次佐久市総合計画には、小学生による未来の佐久市の絵などを載せていますが、後期基本計画では、今のところ、どのようなデザインとするかまで検討しておりません。今後、ご意見をいただく中で考えていきたいと思っています。
(委員)	序論 13 ページに「後期 5 ヶ年の共通キーワードはチャレンジです」とあるが、今までチャレンジがキーワードであると聞いていなかった。資料 2 のチャレンジ項目に書いてある内容をあまり重要視して見て来なかった。「キーワードはチャレンジです」という事で、資料 2 にチャレンジ項目があるという認識で良いか。
(事務局)	「チャレンジ」がキーワードで、この事は、これまで審議いただいた後期基本計画の骨格でもご説明させていただいているはずだと思います。いずれにしてもチャレンジというキーワードに基づいて、資料 2 にチャレンジ項目があります。 すべての施策にチャレンジ目標を掲げたい思いもありますが、ものによっては目標を掲げるのが難しい施策もあるため、最終的に全部

	揃うか難しい面もあると思います。
(委員)	これまでの審議会などで、チャレンジ目標がない施策に、何かないか投げかけはされなかったんですか。
(事務局)	特に投げかけはしていない。
(委員)	せっかくキーワードはチャレンジと言っているのに、全部になんらかのチャレンジがあった方がいいのではないか。
(事務局)	大変貴重なご意見ありがとうございます。今のところチャレンジ目標は、庁内での検討によるものですが、審議会の皆さんからご意見をいただいたり、また10月には地区懇談会等開催することになっていきますので、そういった中で、チャレンジ目標についてご提案いただければと考えております。
(委員)	その辺は徹底された方がいい。もう一つの質問ですが、前期5年の結果で、総括を聞いた時に各々の施策に対して数値的な目標を立てなかったのが5年経ってもどれくらい達成されたのかが明確にできないと説明があった。それで後期5年はどうするかとなった時に、いくつか目標数値がありますけれど、主な取り組みの個々の項目には数値目標が入っていない。この後期基本計画に、数値目標が入れられるのであれば、わかりやすいと思うのですが。それはどうでしょう。
(事務局)	数値目標については代表的なものだけになっている。全部というわけにはいかないが、事務事業という大きなくくりがありまして、それについては佐久市行政評価という取り組みを進めまして、この評価をする際に目標が達成できたかどうか評価する仕組みをとっています。
(委員)	目標値に向かって努力をして、結果がどうであったかというのをある期間たってから振り返って、しっかり検証するというのが大切だと思います。皆さん、そう思っていると思うんです。目標値と結果を比較できるような仕組みを並行して進めていただきたいと思います。
(委員)	私はチャレンジとか色々含んでいて、とてもいいものが出来てきたと、読んでとてもいいなと思いました。 5章2ページチャレンジ目標に、家庭用太陽光発電システムの設置

<p>(事務局)</p>	<p>を1万kwにする、とある。すごい目標だと思ったが、こういうのって議会が承知しているのか、市がやりたいと思っているだけなのか、どういうレベルの目標になるのか教えてほしい。</p> <p>チャレンジ目標は、かなり高い目標を掲げて努力するという事で、リアルな目標とは若干違います。</p> <p>総合計画につきましては、基本構想・基本計画がありまして、それを具体化するために実施計画があります。具体的な金額まで含まれている計画が実施計画ですが、これについては3年間の計画期間で毎年見直しを行い作成するという形を取っていきまして、それをベースに毎年の予算が立てられています。実施計画は議会で報告はしますけれども、議会で議決をしていただいて初めて予算が決まりますので、このような目標の達成には、当然議会で議員の皆さんにもご承知をいただかなければならないものなので、機会を設けて説明していくこととなります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>未来に続く佐久らしさの追及と創造というテーマになっていますので、いろんな努力はされているかと思えますけど、改めて見つめ直していただければと、要望です。</p>

(2) その他

事務局より説明（今後の日程等）

4 閉 会